

ひろがる身近な緑

横浜みどりアップ
現場ルポ

人の流れをつくり、まちの魅力を引き立てる。

そんな身近な、まちの緑を訪れました。

(取材 大竹斎子委員)

人の流れをつくる庭園

都心部では緑や花が人の流れを変えます。「緑があふれ、歴史を感じる山手の庭」がコンセプトの山手の丘の一角に誕生したブラフ99ガーデン(中区)はまさにその象徴。港の見える丘公園と、外国人墓地を結ぶ新しいスポットとして、山手を訪れる観光客の起点ともなっています。



ブラフ99ガーデン

取材メモ 住民の提案がきっかけとなり、横浜地方気象台の隣接地が緑のオープンスペースとして生まれ変わりました。地域のランドマークになって欲しいです。

ここにみどり税! 土地の買取り費用、整備費用

企業と一緒に都心に緑を

マークイズ

みなとみらいのビル群の中にある、MARK IS みなとみらい(西区)。屋上庭園では約20品種のかんきつ類や年間50品目以上の野菜やハーブを栽培しています。休日には種まきや収穫体験などのイベントを開催しています。庭園には、様々な昆虫や鳥が訪れています。



屋上庭園

取材メモ 訪れた委員からは、企業や地域と一緒に緑のあふれるまちをつくっていくとする仕組みを評価する声や、大企業の作る施設に助成金は必要か?といった声がありました。

ここにみどり税! 壁面緑化の設置費用

横浜みどりアップ計画とは

緑豊かな環境を将来に残すために、市民の皆さんと一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています。(個人市民税均等割に年間900円、法人市民税に均等割の9%を上乗せ)計画書は、環境創造局ホームページ、区役所広報相談係や市庁舎1階市民情報センター、環境創造局政策課で閲覧できます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/midoriup/>



みどりアップQ 第2号

(市民推進会議広報誌 第22号)平成27年1月発行

編集:横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会

発行:横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

[みどりのイベント情報]

イベント INFORMATION

横浜・食と農のフォーラム

農や食をテーマにした講演やトークディスカッション。2月4日(水)午後2時~4時30分、ヨコハマ創造都市センター(中区)、先着200人

申込制:詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/nousan/tisantisyo/torikumi/forum2.html>

問合せ:環境創造局農業振興課 ☎671-2639 ☎664-4425

旬の里山探訪

その日その時の自然との出会いを大切に、新治市民の森を散策。毎月第1水曜(1・8月は休み)、午前10時~正午、雨天中止、にはは里山交流センター管理事務所(緑区)に集合、成人定員15人、200円

申込制:電話かファクスかEメールにイベント名と参加者の氏名・住所(町名まで)、電話番号を記入し新治里山公園・にはは里山交流センター(☎931-4947 ☎937-0898 Eメール info@niiharu.jp)へ ※駐車場なし

親子でバードウォッチング

野鳥の色々な行動を観察。2月21日(土)午前10時~午後0時30分、雨天決行、横浜自然観察の森(栄区)、4歳~中学生と保護者、抽選40人

申込制:Eメールかファクス(2月7日必着)にイベント名と日時、参加者全員の氏名、子の年齢、電話・ファクス番号、本誌で知った旨を記入し横浜自然観察の森自然観察センター(☎894-7474 ☎894-8892 Eメール yokohama-nc@wbsj.org)へ

親子で楽しむ植物遊び

自然を好きになる植物遊びや、作品作り。3月1日(日)午前10時~午後3時、環境活動支援センター交流スペース(保土ヶ谷区)、小学生以上と保護者、先着10組20人、動きやすい服装・雨具・弁当・飲物持参

申込制:電話か直接(2月14日からの土・日・祝日、午前9時~午後5時)環境活動支援センター交流スペース(☎713-6350 ☎721-6356)へ

横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。
ホームページは

市民推進会議

検索

問合せ 横浜市環境創造局政策課(事務局)

〒231-0017 横浜市中区港町1-1

☎045-671-4214 ☎045-641-3490

E-mail: ks-mimiplan@city.yokohama.jp

みどりアップQとは

みどりアップQの「Q」は「みどりアップをもっと知る、なぜなら? (クエスチョン)」と、「緑のある暮らしの質(クオリティー)」を考える。市民目線でみどりアップ計画を探っていく市民推進会議のレポートです。

みどりアップQ

緑×まち×未来を考えよう

Vol. 2
Jan.2015



横浜
みどりアップ計画
市民推進会議
レポート

Q 横浜のみどりを減らさないためには?

目次

受け継いできたこの里山を、次の世代へひろがる身近な緑
イベント情報

戸塚区名瀬町の里山

横浜みどりアップ計画では、緑を減らさないため、さまざまな努力がなされています。

こうした取組は、私たち市民の横浜みどり税に支えられています。

今号では、樹林地を市民の森に指定すること、まちの緑を増やすことをレポートします。

受け継いできたこの里山を、次の世代へ

緑豊かな名瀬の森に、新たな市民の森が生まれようとしています。
昨年、市民の森に指定された戸塚区名瀬町の緑豊かな里山。
横浜みどりアップ計画市民推進会議の委員が、
そこに暮らす土地の所有者の一人を訪ね、森への想いを伺いました。

(取材 東みちよ委員)



江戸時代から続く里山

名瀬の幹線道路から少し入ると、ここが横浜？と思うほどの、のどかな里山の風景が広がっていました。田畑の向こうには、こんもりとした森。すそ野にはクヌギやコナラの広葉樹、さらに奥にはスギが林立しています。「子供の頃から、ずっとこの山で遊び、暮らしてきました。」という北村宏之さんは、新たに市民の森契約をした土地所有者の一人。「江戸時代から代々この山を受け継いできたんです。私で十六代目。祖父や親父が大事にしてきた山を、なんとか残したいという気持ちで、市民の森制度に協力することにしまし



北村さん。背景は子供のころから遊んでいた竹林と、息子さん達が山から切り出した、シイタケを栽培するほど木。

た。」北村さんはそう言いながら、昔の航空写真を見せてくれました。「戦前、祖父の代には製材用のマツやヒノキ、スギを植えていました。他には、クヌギやコナラを炭にし、明治・大正の頃は桑畑もありました。戦時中には、軍用に松根油を作るためにマツを根こそぎ供出したそうです。山が生活の一部となっていましたね。私が子供の頃は、竹林でよく遊んでいたのを覚えています。」

里山の変化、暮らしの変化

けれども40年前くらいからは、安価な輸入材に押されて木材も使われなくなり、里山の暮らしは変化しました。「いつの間にか横浜から製材店もなくなりましたね。今は知人宅用に、クヌギやコナラを薪ストーブの燃料として渡しているくらいです。」

現在は、週に一度手伝ってくれる仲間と一緒に里山の手入れをしているという北村さん。手入れは下草刈り、枝打ち、間伐、搬出など体力的にも負担の大きい作業です。それを今後どうするか？というのは大きな課題でした。それを手助けする手段の一つが、市民の森の制度でした。

土地所有者の気持ちに寄り添う支援を

もともとこの土地は、市街化が抑制されている市街化調整区域にありますが、過去には病院、学校など土地開発の誘いもあったそうです。しかし里山を受け継いでいきたいという所有者の方々の思いにより開発から守られてきました。北村さんもそんな一人。「虫食い状に開発されてしまうのが嫌だったんですね。でも持ち続けていれば固定資産税や山の手入れなど、経済的にも体力的にも負担がかかります。それを少しでも軽減できるならと……。」

市民の森の制度では、土地を手離さずに、固定資産税

ぼくたちも
ずんでいるよ



たぬき



山仕事の
様子

の減免や、愛護会を交えての維持管理などが継続的に行われます。そうしたことが少しでも土地所有者の負担軽減となれば、森を提供する人にも、また私たち市民にとっても森を失わずに利用できるというメリットとなるのです。

次の世代へとつながる里山

そんな北村さんの里山では、新たな動きも始まっています。週末は息子さんが仲間を連れて、山や畑の作業を楽しんでいるそうです。「息子は東京でサラリーマンをしていますが、シイタケのほど木を世話したり、畑で作物を作ったり。農業は楽しい、って言ってます。いつまで続くかわかりませんが、そう言いながらも嬉しそうに笑う北村さん。代々受け継がれてきた里山が、市民の森として、未来の世代へ繋がることを期待します。



週末に集まる仲間

森って楽しい

ここにみどり税！

指定に伴う測量などの費用

まとまりのある森を残すことで

市内に残る森の多くは民有地ですが、多額の相続税などのため、手放す土地所有者の方が多くいました。手放された森は荒れ、虫食い状に開発されるなどのケースが後を絶ちませんでした。横浜みどりアップ計画で、まとまりのある森を守ることは、そこにある美しい景観と、多様な生態系を守ることに繋がっていきます。

身近な市民の森いろいろ

平成26年12月現在

市民の森は42地区指定されています。森ごとに個性が光り、どれ一つとして同じ森はありません。整備が終わり、公開中の森をご紹介します。



▲川和市民の森 市営地下鉄川和町駅すぐ。里山の雑木林が広がります。

▼鍛冶ケ谷市民の森 古墳時代の横穴墓があります。散策しながら自然と歴史を感じませんか。



公開中の市民の森

- | | |
|----------------|------------------|
| 寺家ふるさとの森 (青葉区) | 飯島市民の森 (栄区) |
| 追分市民の森 (旭区) | 鍛冶ケ谷市民の森 (栄区) |
| 矢指市民の森 (旭区) | 瀬上市民の森 (栄区) |
| 今宿市民の森 (旭区) | 上郷市民の森 (栄区) |
| 南本宿市民の森 (旭区) | 荒井沢市民の森 (栄区) |
| 中田宮の台市民の森 (泉区) | 瀬谷市民の森 (瀬谷区) |
| 峯市民の森 (磯子区) | 川和市民の森 (都筑区) |
| 氷取沢市民の森 (磯子区) | 駒岡中郷市民の森 (鶴見区) |
| 豊頭寺市民の森 (神奈川区) | 獅子ヶ谷市民の森 (鶴見区) |
| 金沢市民の森 (金沢区) | まさかりが淵市民の森 (戸塚区) |
| 釜利谷市民の森 (金沢区) | 深谷市民の森 (戸塚区) |
| 関ヶ谷市民の森 (金沢区) | ウイトリツヒの森 (戸塚区) |
| 称名寺市民の森 (金沢区) | 舞岡ふるさとの森 (戸塚区) |
| 下永谷市民の森 (港南区) | 新治市民の森 (緑区) |
| 綱島市民の森 (港北区) | 三保市民の森 (緑区) |
| 熊野神社市民の森 (港北区) | 鴨居原市民の森 (緑区) |
| 小机城址市民の森 (港北区) | |

ホームページ

横浜市市民の森

検索

市民の森のガイドマップは市庁舎1階市民情報センターや区役所、ウェルカムセンター（自然観察センター、いはる里山交流センター、四季の家 [寺家]、虹の家 [舞岡]、環境活動支援センター）にあります。

市民の森利用の問合せ

●北部公園緑地事務所
(鶴見・神奈川・旭・港北・緑・青葉・都筑区のエリア)

☎ 311-2016 fax 316-8420

●南部公園緑地事務所
(港南・磯子・金沢・戸塚・栄・泉・瀬谷区のエリア)

☎ 831-8484 fax 831-9389

Q 市民の森制度とは？

A 市独自の緑地保全制度の一つで、概ね2ha以上の公開可能な樹林地などを対象に、市と土地所有者とで市民の森契約を締結し、市が散策路などを整備して市民に利用いただく制度です。指定されると、固定資産税の減免、緑地育成奨励金の交付のほか、相続など不測の事態が生じた場合は、横浜みどり税を活用した土地の買取が可能です。

Q 市民の森を公開するまでに何をしているの？

A 市民の森契約（指定）後、土地所有者の方々や地域の方々と話し合いながら、整備計画をつくり、園路や広場などの施設整備や枯木の除去等の安全措置などがなされたうえで、ようやく市民に公開されます。